

演習問題 12

問1 ア： \_\_\_\_\_ イ： \_\_\_\_\_

問2 \_\_\_\_\_

問3 (1) \_\_\_\_\_

(2) 原口周辺のランドマーク = \_\_\_\_\_ ← \_\_\_\_\_ ← \_\_\_\_\_

(答) \_\_\_\_\_ における \_\_\_\_\_ の位置情報。

<別解> \_\_\_\_\_ における \_\_\_\_\_ の位置情報。

問4 \_\_\_\_\_

- 問5 実験1：無処理シャーレ底面では陥入した原腸の組織は接着したまま動かなくなる  
実験2：FN処理シャーレ底面では陥入した原腸の細胞は接着したまま動くようになる  
実験3：アルブミン処理シャーレ底面では陥入した原腸の組織は接着したまま動かなくなる  
なる

⇒ \_\_\_\_\_

FN : 

|                  |
|------------------|
| FN 全体 (約 2200 個) |
|------------------|

A : 

|              |
|--------------|
| FN 一部 (15 個) |
|--------------|

B : 

|              |
|--------------|
| FN 一部 (15 個) |
|--------------|

C : 

|      |
|------|
| 15 個 |
|------|

ペプチド A：陥入を阻害

ペプチド B：陥入を促進

抗体 A：FN のペプチド A 相同領域に結合して陥入を阻害

抗体 B：FN のペプチド B 相同領域に結合して陥入を阻害

⇒ \_\_\_\_\_ …

ペプチド A は \_\_\_\_\_ のような働きをしている → 細胞の \_\_\_\_\_

⇒ FN のペプチド A 相同領域は \_\_\_\_\_

(ペプチド A は FN の一部なので、FN の働きを完全再現するのは不可能)

ペプチド B は \_\_\_\_\_ 働きを持つ

⇒ FN のペプチド B 相同領域は \_\_\_\_\_

=陥入した細胞が \_\_\_\_\_ する

(1) ペプチド A は \_\_\_\_\_ して細胞と \_\_\_\_\_ した。

(2) 抗体 A が \_\_\_\_\_ する FN の \_\_\_\_\_ 相同領域に結合することで \_\_\_\_\_ された。抗体 B は \_\_\_\_\_ する FN の \_\_\_\_\_ 相同領域に結合して, \_\_\_\_\_ した。それぞれの機能欠損の結果, 細胞の陥入が抑制された。